

島根県では毎年のダニが媒介する感染症の患者発生があります 山、畑、庭先、ペットからも！ ダニにご注意ください



病原体を持ったダニ類に刺されることによって発症する感染症

日本紅斑熱

媒介者：マダニ
(体長:1.8~3mm)
病原体：リケッチア
時期：3~11月
(特に秋ごろ)
潜伏期：2~10日

症状：発熱（高熱）や頭痛、関節痛を伴い、体幹部や手足に発疹が認められます。また、ツツガムシやマダニ類の吸血した痕（刺し口）が認められます。日本紅斑熱とつつが虫病は、人から人へ感染しません。

日本紅斑熱、つつが虫の
詳細はこちら→
島根県感染症情報センター



つつが虫病

媒介者：ツツガムシ
(体長0.5~0.8mm)
病原体：オリエンティア
時期：3~5月、10~12月
潜伏期：5日~14日間



ツツガムシ マダニ

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

媒介者：マダニ
(体長:1.8~3mm)
病原体：SFTSウイルス
時期：日本紅斑熱と同じ
潜伏期：6~14日

症状：発熱、消化器症状
(嘔吐・下痢等)、
時に頭痛、筋肉痛、
神経症状、リンパ節
腫脹、出血症状等

致死率：約20%

SFTSの詳細は
こちら→
島根県感染症
情報センター



野山や畑などに出かけるときは・・・



ダニに噛まれない予防策

- DEETを含む虫よけスプレーを噴霧しましょう。
- 山や、畑から帰ったらすぐに、入浴しましょう。
- 着ていた服は、洗濯しましょう
- 山に入って数日後に熱や発疹が出たら医療機関を受診し、野山に入ったことを伝えましょう。
- **ダニがまだ皮膚についている場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)を受診してください。**

犬や猫からの感染も！

SFTSを発症した犬や猫から人に感染する事例が報告されています。

- 症状：発熱、下痢、黄疸など
- ダニの駆虫薬を定期的に投与しましょう
 - ペットのブラッシングをしてダニを落としましょう
 - ペットが体調不良の際はすぐに動物病院を受診しましょう
 - 体調不良のペットを触る際は手袋をしましょう

